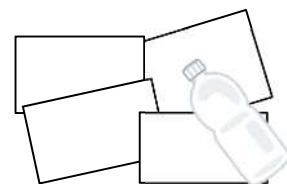


# おう吐物処理の手順

- ① 換気扇を回し、窓を開ける
- ② 処理する人以外が近づかないようにする
- ③ ごみ袋 A、B を広げておき、水と消毒液(0.1%)をそれぞれ浸したペーパータオルを用意する
- ④ 処理する人は手袋・マスク・エプロンを着用する  
※手袋は汚染がひどい場合は、都度交換する
- ⑤ おう吐物をペーパータオルや新聞紙で覆い、外側から内側に向けてふき取り、ごみ袋 A に入れる
- ⑥ おう吐物が付着した床周辺やや広めにペーパータオルや新聞紙で覆い消毒液(0.1%)を染み込ませる
- ⑦ 消毒に使用したペーパータオルを外側から内側に向けてふき取り、ごみ袋 A へ入れる  
※消毒液で床がひどく濡れている場合は、ペーパータオルで拭いても良い
- ⑧ 消毒液(0.1%)を染み込ませたペーパータオルで、半径2m の範囲を拭き、ペーパータオルをごみ袋 A に捨てる
- ⑨ ごみ袋 A を密閉する。さらに、密閉したごみ袋 A をごみ袋 B に入れる
- ⑩ 消毒液(0.1%)による腐食や劣化を防ぐために、さらに床を水拭きする
- ⑪ 手袋・マスク・エプロンをごみ袋 B に一緒に入れ、密閉して廃棄する  
汚染された着衣は廃棄するか、消毒液(0.02%)に 30 分以上つけて消毒、または熱湯消毒し他の洗濯物と分けて洗う
- ⑫ 手洗いをしっかり行い、おう吐があった部屋は1時間以上換気続ける



令和6年11月作成 今後新たな情報や知見により、内容が変更する可能性が有ります。各自で最新の情報をご確認ください。

<問合せ先> 荒川区保健予防課 感染症予防係 TEL: 03-3802-3111 (内線 430)

【感染症発生情報(毎週更新)】荒川区ホームページ

トップページ→健康・医療・衛生→感染症→感染症発生情報



# おう吐物処理セット

- 手袋 2~3組
- マスク 1枚
- エプロン 1枚



- ゴミ袋 2枚
- ペーパータオル または 新聞紙
- ペットボトル (500ml、2L)



- 消毒液 (次亜塩素酸ナトリウム希釈液)

## 消毒液の作り方



※次亜塩素酸ナトリウム原液濃度 6%の場合 ※噴霧しないこと、作り置きしないこと

おう吐物、ふん便の処理(直接触れた箇所) 0.1%

500ml のペットボトル1本の水に  
原液9ml(ペットボトルキャップ2杯弱)



調理器具、ドアノブ、便座、床、衣類などの消毒 0.02%

2L のペットボトル1本の水に  
原液7ml(ペットボトルキャップ 1杯半)



令和 6 年 11 月作成 今後新たな情報や知見により、内容が変更する可能性が有ります。各自で最新の情報をご確認ください。

<問合せ先> 荒川区保健予防課 感染症予防係 TEL: 03-3802-3111 (内線 430)

【感染症発生情報(毎週更新)】荒川区ホームページ

トップページ→健康・医療・衛生→感染症→感染症発生情報

